

様式第1号

事後評価シート

農政水産部

番号	事業名 箇所・地区名	市町村	事業概要	事業期間		事業費 (百万円)	対象理由 ※2	担当課
				着手	※1 再評価 完成			
3	水産環境 整備事業 日向灘沖合 地区	沿海 市町村	浮魚礁 表層型浮魚礁 2基更新 1基新設 中層型浮魚礁 4基更新	H24	- H29	1,003	①	漁業管理課

【1 全体計画】

浮魚礁

表層型浮魚礁 更新2基（うみさち4（宮崎市沖）、5号（串間市沖））
新設1基（うみさち6号（日向市沖））
中層型浮魚礁 更新4基（中層3、4、5、6号（宮崎市沖））

【2 事業目的】

日向灘沖合はカツオ類、マグロ類等の回遊経路である黒潮縁辺部にあたり、蛸集や滞留性を高めるために設置した表層型、中層型浮魚礁の計画的な更新により、漁業生産力の維持・増大を図る。
さらに漁場利用で混雑しているうみさち3号近辺に表層型浮魚礁を新設することで、漁業生産力の向上を図る。

【3 事業効果の発現状況等】

本事業による浮魚礁の更新等により、浮魚礁周辺海域の漁場を維持し、県内の漁業生産量を増加させた。

※漁獲量は年平均、単位はトン

	設置基数		表層型浮魚礁	中層型浮魚礁	合計 漁獲量
	表層型	中層型	漁獲量	漁獲量	
整備以前	2	4	541.0	49.2	590.2
整備以後	3	4	597.3	45.6	642.9

<その他>

○ 浮魚礁が設置されたことにより、漁場が明確になるため、漁場探索に係る燃油代の節約ができ、漁業経営に寄与した。

【4 事業による環境の変化や環境の保全】

浮魚礁を設置することで、水生生物の生息環境を造成するものである。

また浮魚礁の更新時は、チェーンを含め、浮魚礁のすべてを回収するため、環境への負荷はない。

【5 施設の維持管理状況】

浮魚礁については、監視システム等による日常監視及び法令に基づく定期点検を実施し、適切に維持管理している。また「宮崎県人工魚礁管理規程」に基づき、利用者である漁業者が本体損傷等の異常の目視点検を行い、管理を実施している。

【6 今後の課題等】

供用期間の10年に応じた計画的な撤去、更新が必要であるとともに、漁場利用や環境の変化に合わせた型式等を選択する必要がある。

総合評価

特記事項

浮魚礁の整備により、水産物の生産力の維持・向上が図られ、事業効果の発現が認められる。

特になし

※1 再評価の実施年度については、直近のものを記載すること。

※2 対象理由は、「①：全体事業費が基準額以上であり、かつ事業完了後一定期間が経過した事業」又は「②：再度、事後評価の必要があると判断した事業」の番号を記載する。

※3 事後評価の際には、出来る限り客観的な数値を記載すること。